

科目分類	助産学基礎科目		開講時期	1年 前期	
授業科目	周産期の基礎科学（薬理・栄養）				
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位	15時間	授業形態 講義
担当教員	山崎 弘美				
メールアドレス	h-yamazaki@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	授業後		

到達目標	<p>1) 周産期における薬物の特徴、作用機序、母子に及ぼす影響が説明できる。</p> <p>2) 周産期に関連した薬剤の管理について理解する。</p> <p>3) 母子の食生活の現状と母子の栄養の意義が説明できる。</p> <p>4) 妊産褥婦・乳幼児に必要な栄養に関する知識を習得し、栄養状態の評価ができる。</p>
授業概要	<p>周産期における薬剤について、また栄養についての基礎的知識を学ぶ。薬剤に関しては、周産期における薬物の特徴、作用機序、母子に及ぼす影響及び薬物の管理等の基礎的な知識、栄養においては、母子の食生活の現状を踏まえた上での妊産褥婦・乳児の栄養に関する基礎的知識を習得する。</p>
授業内容	<p>第1回 母子と生活環境（物理的要因、化学的要因）</p> <p>第2回 母子と栄養1（母子の健康と食生活、栄養状態の評価）</p> <p>第3回 母子と栄養2（妊産褥婦の病態栄養）</p> <p>第4回 課題発表およびテスト1</p> <p>第5回 母子と嗜好品・薬物（タバコ、アルコール、依存性薬物）</p> <p>第6回 周産期に使用する薬物とその影響1（妊娠期）</p> <p>第7回 周産期に使用する薬物とその影響2（分娩期、産褥期）</p> <p>第8回 課題発表およびテスト2</p>
教科書・参考書等	<p>教科書</p> <p>助産学講座3（母子の基礎科学）</p> <p>助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ</p> <p>助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ</p>
成績評価基準・方法	<p>課題（50%）、筆記試験（50%）により総合的に評価する。</p> <p>合格基準 60%以上</p>
履修要件	特になし
留意事項・その他	無断欠席は厳禁です。